

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
1 発達段階 に応じた、読書 と本に親しむ機会 の提供	(1) 保育園等における取り組み ア 乳幼児期（子育て支援センター）	絵本を通じて乳幼児期の子どもと保護者の親子関係を育み、ことばや心を育てます。	親子で本に親しむ姿がよく見られるようになってきています。支援センターでは乳幼児期の成長に絵本が欠かせないことを保護者へ啓発していく必要があります。	①子育て支援センターの利用者が絵本に親しめるような環境を整えます。	【実績】 午前1回、午後1回子ども達が帰る前に毎日絵本の読みかきかきを行い、絵本に親しんでいます。 【成果】 ・子ども達は絵本の読み聞かせの時間になると椅子に座って待ち、絵本に興味をもつようになった。 ・絵本コーナーで絵本の読み聞かせをしている方もいるので絵本に触れあう時間は多くなった。	B	子育て支援センターの利用者が絵本に親しめるような環境を整えます。	子ども家庭支援係
				②乳幼児期の生活習慣の自立を題材にした絵本の活用や、子どもの興味関心にあった絵本を用意します。	【実績】食べ物や生活習慣等の絵本を活用し、食事、手洗い、トイレ等日常生活の自立に向けた取り組みをした。 【成果】食べ物等の絵本は大好きになり、子ども達は興味や関心をもって絵本を見るようになった。	C	乳幼児期の生活習慣の自立を題材にした絵本の活用や子どもの興味関心にあった絵本を用意します。	
				③ボランティアによる読み聞かせや絵本を活用した事業を実施して、絵本に親しむ機会を提供します。	【実績】行事の中止が多く、ボランティアによる読み聞かせの実施回数が減少した。 【成果】 ・いろいろな絵本の読み聞かせをしていただき、絵本の読み方、絵本選び等参考になった。 ・ボランティアの活動内容は親子共に楽しむことができた。	C	ボランティアによる読み聞かせや絵本を活用した事業を実施して、絵本に親しむ機会を提供します。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(1) 保育園等における取り組み イ 未就学児（保育園等）	絵本や物語などに親しみながら豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いの力を養います。	園における読書活動の充実に当たっては、保育士等の読書活動に関する資質の向上が欠かせません。毎年発行される多くの絵本や紙芝居等から、いまの子どもたちに適切な資料を選ぶことなど、選書・読み聞かせなどのスキルの向上を常に図る必要があります。	①保育士の選書等に係る支援（研修・相談など）を継続実施します。	【実績】 ・絵本研修の自主参加 ・おすすめ絵本の紹介（各業者） ・年1回絵本研修（なるにや書店） 【成果】 ・保育士の選書に係わる資質向上に繋がった。	C	継続	保育係
				②保育指針等に基づく保育を実践し、読書に親しむ力を養います。	【実績】 ・絵本コーナーの充実。 【成果】 ・絵本コーナーには、いつでも好きな時に絵本に触れることができるようになっている。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 学校図書館における取り組み ア 朝読書等…定期的な読書時間の確保	子どもの放課後活動の充実を図ります。	授業時間確保の観点から、読書の時間が減る傾向にあります。充実した読書教育が行えるよう「朝読書」や「図書館の時間」の確保が課題です。	①日課の中に全校が一斉に読書に取り組む時間を設定します。	【実績】朝読書を実施。図書館の授業を実施（小学校のみ）。 【成果】定期的に図書館が利用される。集中して読書に取り組むことができる。	A	今後継続して取り組む。	学校教育係
				②児童・生徒の委員会活動とも連携し、児童・生徒・教職員が一丸となって読書に取り組む雰囲気を醸成します。	【実績】児童生徒が企画を考え、学校全体で実施している。 【成果】本をあまり読まない児童生徒も、企画をとおして楽しみながら読書ができている。	B	今後継続して取り組む。	
				③読書指導をとおして、子どもたちの読書力にふさわしい本を紹介するとともに、読書の大切さや本の魅力について伝えていきます。	【実績】児童がどのような本を読んでいるか、担任が児童の様子を見て声掛けをしている。学校司書は、担任とも連携をしながら学年に応じた本紹介を行っている。 【成果】紹介した本の貸し出し数の増加のほか、児童からの感想等も聞くことができ、図書館運営側としても参考になった。	B	今後も継続して取り組む。	
				④「図書館の時間」には、読み聞かせやブックトークなど、本への興味や幅広いジャンルへの関心が高まるような取り組みをします。	【実績】※小学校のみ 低学年に読み聞かせを行った。高学年には本の紹介をした。 【成果】多様なジャンルの本に興味を持つ機会を作ることができた。読み聞かせ・紹介した本は特に読書意欲を向上させた。	C	今後も継続して取り組む。他校の様子も情報共有して実施していく。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 学校図書館における取り組み イ 読書週間・読書旬間	読書や図書館に関わるイベントを開催することで、読書への意欲関心を高め、恒常的な読書習慣づくりに繋がります。	全校を巻き込んで楽しく取り組むことができますが、実施に当たっては準備や時間確保等で効率的な運営が求められます。	①本や物語への関心を高めるため、外部の方や教職員による読み聞かせ、学校司書によるパネルシアターなどを行います。	【実績】※小学校のみ 親子文庫の実施や、教職員による読み聞かせ等を行った。 【成果】 親子文庫の実施が読んだことのないの本に触れる機会となり、読書に親しむことができている。	C	今後も継続して取り組む。 効率的な運営や、紹介した本が蔵書されているように整備したい。	学校教育係
				②図書委員や教職員によるお薦め本を全校に紹介します。(短冊やポップ等、効果的な紹介の仕方を工夫)	【実績】 図書委員と教職員のおすすめ本の紹介をする。(ポスターやポップの掲示、昇降口に学年別の掲示等) 【成果】 貸出数の増加の他、立ち止まって見る児童生徒が多くみられた。	A	今後も継続して取り組む。	
				③家庭でも家人とともに読書する習慣を身につけてもらえるよう働きかけます。	【実績】※小学校のみ 家庭の読書記録等に保護者からのコメント欄を設け、その様子を確認できるようにしている。図書館だよりを発行し、読書を促している。 【成果】 家庭での読書週間の必要性を感じてもらえた。	C	今後も継続して取り組む。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 学校図書館における取り組み ウ 選書の工夫	児童・生徒のニーズにそった選書や幅広いジャンルに興味を持ってもらえるような選書を心がけます。	各教科や児童・生徒のニーズにあっているか、教科や調べ学習に役立っているか、幅広く偏りのない選書ができているか、常に見返しをすることが求められています。	①教科書に載っている本のコーナーを設け、担任や学校司書が積極的に紹介し、読み聞かせなどを行います。	【実績】 コーナーを設ける他、読み聞かせや声かけ、ブックリストの作成なども行い、児童生徒の目に触れる機会を作った。 【成果】 後になって探しに図書館へ来館したり、同一作者の他の本を借りたりする様子も見られ、授業からの広がりがあった。	C	今後も継続して取り組む。	学校教育係
				②本棚に埋もれていた本を手にとってもらえるように、また児童・生徒が自分からは選びそうもない本にふれてみるきっかけとして、蔵書を幅広く紹介する企画を行います。	【実績】 テーマコーナーを作り、様々なテーマの本を紹介して手に取りやすくした。 【成果】 普段手にしない本を手にする機会となり、貸出にもつながった。	B	今後も継続して取り組む。	
				③児童・生徒・教職員のニーズ把握に努めます。	【実績】 授業に関連する内容も含め、児童生徒や教職員が何を読みたいのか、アンケートを実施した。 【成果】 学校司書の立場だけでなく、児童生徒や教職員の立場から選書することができた。	B	今後も継続して取り組む。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				④購入にあたっては、学校図書館としての特性を活かして、教科書中心の他、話題の本、興味を持つ本、魅力的な本、課題解決型の本等を選定の目安にします。	<p>【実績】</p> <p>カタログや展示会のほか、他校との情報共有、インターネット等の様々な情報を収集して幅広い本の中から学校図書館にふさわしい本を選書している。</p> <p>【成果】</p> <p>授業内容に関連するものは、担任と児童、また児童同士のつながりが深まった。また、選書を行う学校司書としても様々な本を知る機会となり、今後の選書の参考になった。</p>	B	限られた予算内での効率的な選書が求められる。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 学校図書館における取り組み エ コラボ 給食	物語と給食を関連させることにより「読んでみたい」「食べてみたい」という気持ちを高め、読書と給食双方への関心意欲を高められるようにします。	話題性も大切にしながら、どのような本からどのような献立を選べば、給食で再現でき、給食にふさわしい栄養バランスになるかが問われます。	①読書週間や読書旬間を中心に期間を設定し、実施します。	【実績】 年2回程度実施している。 (春・秋頃) 【成果】 児童生徒が大いに楽しめる企画である。給食と読書の両者に関心が向けられる企画になっている。	B	今後も継続して取り組む。給食調理員等との連携も必要であり、早めの計画が必要になる。	学校教育係
				②実施にあたっては、物語や絵本など幅広いジャンルから献立を選定するために、児童・生徒や職員から幅広く情報提供を求めます。	【実績】 図書委員が決めるほか、アンケート・投票を実施している。 【成果】 アンケート等を実施することで、児童生徒自身に関わることができ、給食と本の両者に関心が向けられた。	B	同上。 学校司書のみで決めている場合には、図書委員にも担当してもらい、学校全体で楽しめる企画を計画していきたい。	
				③学校司書が該当の本を児童・生徒に紹介する機会を持ちます。	【実績】 図書館の時間での本の紹介のほか、昼の放送での紹介を行った。 【成果】 貸出数の増加に繋がった。	B	今後も継続して取り組む。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(3) 市立図書館における取り組み ブックスタート事業	赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合う時間を育てます。	短時間で、絵本の魅力や読み聞かせの大切さ、親子のふれあいの重要性を伝える必要があります。数年に一度配布絵本の見直しを行う必要があります。	①絵本をとおして親子のふれあいの重要性を伝え、検診時間の合間に図書館で選書した10冊の中から1冊を配布します。	<p>【実績】 全体会では読み聞かせの重要性を伝えた。R3年度は182冊、R4年度は170冊、R5・5月まで35冊、計385冊を配布した。検診者宅に所蔵の本が数冊かぶる場合もあり、見直したが変更はしなかった。</p> <p>【成果】 選択に迷う保護者へ、選ぶ目安をアドバイスし、個々の絵本の魅力を伝えることができた。</p>	B	継続	図書館係
				②図書館に赤ちゃん向けの絵本を多く所蔵していることを伝え、図書館への来館を促します。	<p>【実績】 本をお渡しする際に、図書館のPRも行った。</p> <p>【成果】 検診を受診した親子が、後日来館し本を借りていく様子があった。</p>	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(3) 市立図書館における取り組み イ 幼児と絵本	ことばを次第に理解でき、意思表示できるようになった子どもたちが、自分で選んだ本を保護者に読んでもらえる楽しく嬉しい気持ちをおして、絵本に親しみ、読書の習慣に結び付くように、保護者に対して幼児期における読書の大切さ、親子で本に触れ合う時間の大切さを知ってもらいます	検診の待ち時間に行っているため、限られた時間の中で、職員による読み聞かせや、読み聞かせの大切さを、子どもや保護者の集中を切らさないように十分に伝えていく必要があります。	①家庭の中で、絵本の楽しさを感じてもらうために、年齢に適した本を選び、読み聞かせや絵本の紹介を行い、様々な絵本と出会うきっかけを作ります。	【実績】 R3・R4年度は年5回、R5年度は年7回、検診時に大型絵本の読み聞かせと、保護者向けにお話を行った。 【成果】 季節や年齢に合ったものを選書したり、1回につき複数の絵本の読み聞かせを行い、絵本に出会うきっかけを作ることができた。保護者と一緒に楽しんでくれている様子が見られた。	B	継続	図書館係
				②たくさんある蔵書の中から選ぶ楽しさを味わってもらうために市立図書館の利用案内を行います。	【実績】 R3・R4年度は年5回、R5年度は年7回、検診時に絵本の読み聞かせとあわせて図書館の案内を行った。(図書館にはたくさんの絵本があること、0歳からカード作成ができること、お話会の案内等) 【成果】 普段図書館を利用していない方にも図書館に足を運んでもらえるよう案内を行うことができた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(3) 市立図書館における取り組み ウ 図書館職員による「おはなし会」	読み聞かせを楽しむことにより、乳児から未就園児とその保護者が本と読書に興味を持ち、本に親しみ、親子でふれあいの時間を持つ時間を増やしていく。	乳児から未就園児を対象に、平日の午前中に開催しており、参加人数が天候や気温に左右されやすいことと、年々乳児の参加が多くなりつつあるので、演目に配慮が必要な場合があります。	①ポスター・チラシの掲示数を増やし、広報周知の強化を図ります。	【実績】 ポスターの掲示数を増やし、HP・ちらし等も使い広報周知に努めた。スタンプカードを作成し、継続して参加する楽しみをつけた。 【成果】 5類移行後、親子の来館者が増え、おはなし会の参加者も増えた。スタンプカードを持参し、継続して参加する様子がみられた。	B	継続	図書館係
				②乳児の参加が増える傾向に合わせ、赤ちゃん向けの演目を多く準備します。	【実績】 乳幼児から楽しめる演目での開催に努めた。手遊びなども親子で楽しめるものを選んで行った。 【成果】 来館時に「クロちゃんにあいにきました」とか、終了後に「またくるね」と帰る様子があり演目内容については成果が出ている。	B	継続	
	エ 助産所とうみおはなし会	乳児と保護者を対象に選書・読み聞かせについての話をし、親子で絵本を楽しむ時間を増やしていきます。	①各回で参加者の絵本についての意識や知りたいことが異なるため、終了後に設けている予備時間で質問等を受け対応する必要があります。 ②助産所が主催のため直前まで参加人数がわからない場合があります。 ③上田圏域（エコール加入）以外の参加者がいるなど、図書館の利用案内の説明が一律とはいかず、難しい場合があります。	①絵本選びの参考になるような様々な絵本を紹介できるように、選書に配慮するなど、個々の疑問に対応できるようにします。	【実績】 コロナ禍で助産所からの依頼なし（親子の健康に憂慮し、依頼があるまで開催なし） 【成果】 なし	E	継続	図書館係
				②助産所に出発する前に参加予定人数の把握を行います。	【実績】 コロナ禍で依頼なし 【成果】 なし	E	継続	
				③利用案内の際、市外の参加者もいるため詳細についてはパンフレット等の配布で対応します。	【実績】 コロナ禍で依頼なし 【成果】 なし	E	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	オ 東御清翔高校図書委員による読み聞かせ会「えほんのくに」	未就学児を対象としたおはなし会で、年齢の近い感性豊かな高校生が読み手になることで、さらに本が身近に感じられる効果を期待します。	3か月～4か月に一度、夕方4時からの不定期開催により、参加者人数が少ないことが課題です。	ポスターを各所に掲示するなど、PR強化を図ります。	【実績】 時期は不定期であったが、年間3回から4回程度の開催ができた。 【成果】 高校生による読み聞かせは、親子と高校生の交流の場となり、子供たちへ本の魅力を伝えることができた。	B	開催時間が午後4時からとなるので、子供の参加者が少ない。図書館前へポスターを掲示したり、早めに市報やホームページでPRをする。	図書館係
	カ 夏休み子ども向け講座	地域に根差した題材を学ぶことにより、地域・郷土への関心や学びへの興味を持つことを目的とします。	工作や実験を行うため、講座によっては参加者が限られる場合があります。低学年の子どもには難しい場合があります。	①定員をなるべく多くして、物品に不足の無いようにします。 ②低学年の子どもには親子参加も可能とします。	【実績】 信州大学出前講座を活用して実施した。 R3年度「地球の模型を作ってみよう」対象：小学生～中学生29人 R4年度「超低温の世界」対象：小学生～中学生20人 【成果】 工作や実験を通して、子ども・大人ともに科学への関心と学びへの興味を持たせることができた。	B	内容について、小学校低学年でも大人の負担が少なく参加でき、かつ中学生も楽しめるものを検討する。	図書館係

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	キ 図書館 まつり	年1回まつりを実施して、魅力ある数々のイベントを開催することで、本の貸出返却以外の図書館の魅力をPRし、図書館を利用したことのない子どもや保護者にも市立図書館を知ってもらい、本への興味を持ってもらうことを目的とします。	より多くの市民が図書館での楽しみを発見する機会にするために幅広い年齢層が興味を持てる催しを開催する必要があります。	①例年開催し親しまれているイベントを残しつつ、メインのイベントには親子や高齢者も楽しむ事ができる内容を実施します。	【実績】 毎年11月3日に図書館まつりを開催した。 【成果】 本のリユース市や各種イベント等親子や高齢者も楽しむ事ができる内容で開催し、図書館の魅力をPRできた。	B	継続	図書館係
				②通常の図書館利用者の妨げにならないように時間の工夫をします。	【実績】 タイムスケジュールを組み、人の流れを妨げないイベント運営を行った。 【成果】 どなたでも参加できる内容で、多くの方に来館していただいた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(4) 親子 文庫協議会	小学生の子どもたちにとって一番身近な存在であるPTA保護者が本を読むことで、子どもたちに本に興味を持たせ、読書が好きになってもらうことを目的とします。	子どもの年齢層に合った選書方法やクラスへの読み聞かせ方法が分からないなど、新規会員が悩む場面があり先輩会員や図書館職員に選書の相談が寄せられます。	①年2回の図書館主催の読み聞かせ講座などで、読み聞かせに関する疑問や悩みの解消、それぞれのスキルアップに努めていきます。	【実績】 年2回の読み聞かせ講座の開催 R3延べ10名参加（コロナの状況で年1回の開催となる） R4延べ23名参加 【成果】 コロナ禍で読み聞かせの機会の減少や活動自体が難しい中、子供たちの成長における読み聞かせの大切さを認識、今後の活動や、活動意欲につなげる事ができた。	B	引き続き講座を開催し、疑問や悩みの解消、勉強の機会の提供を行う。 講座に参加できない会員へは要望に応じて、会長を通じ、講座の内容の情報提供を行う。	図書館係
				②親子文庫の会員の利用者カードを利用し、図書館でたくさんの絵本を借りることで、良書を選ぶ目を養います。	【実績】 R3：5校83名 R4：4校68名 R5：4校65名 の利用者カードの登録を行い、絵本・大型絵本貸出しを行った。 【成果】 絵本の貸出しと共に、選書の相談、コロナの状況に合わせた活動（朗読の本を貸出すなど）のサポートを行う事ができた。	B	R3年度をもって「親子文庫協議会」が解散となった。R4年度より、各団体へのサポートへ移行した。引き続き、読み聞かせに使用する絵本の貸出し、選書のサポートを行う。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(5) ボランティア団体	未就学児とその保護者が年代に合った本の読み聞かせを聞くことによって本への興味、関心をもち、本に親しむことを目的とします。	未就学児を対象に、土曜日の午前中に開催しており、ときには市の行事等の開催日と重なり、参加人数が減少してしまうことがあります。	市の行事予定等を考慮して開催日を立てるように考え、ポスター・チラシの掲示数を増やし、広報周知の強化を図ります。	【実績】参加者に対しスタンプカードを導入・配布した。参加者 R 2 子ども54・大人56名、 R 3 子ども49・大人43名、 R 4 子ども110・大人89名 【成果】参加者の低年齢化が進んでいるが、各団体がプログラムを工夫し、実情にあわせることで参加者の興味・関心が深まった。	B	各ボランティア団体間のコミュニケーション、情報交換の場、学びの場の提供する。	図書館係

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
2 読書環境の整備と充実	(1) 家庭における取り組み	図書館や書店を利用して、子どもの成長に合わせた本を提供し、本を読む手助けとなるように家庭環境を整えます。	仕事や家事で忙しい保護者が多く、読書ができる環境を準備しにくいことが課題です。	①家庭の中で一日1回は、絵本や紙芝居を読んでもあげられる時間をつくります。	【実績】 学校では、家族に読み聞かせをする宿題を課す学級がある。 保育では、家庭で読める月間絵本の購入を行い、園でも家庭でも絵本に触れ合える機会を作る。 【成果】 学校では、読み聞かせ用の絵本を借りていく。 保育では、子どもが家庭に持ち帰り、就寝前に読んでもお願いする機会ができたとの保護者より報告を受けた。	B	継続して取り組む。 学校では、時間の確保ができるよう、方法を考えていく必要がある。	図書館係・保育係・学校教育
				②家庭では読み聞かせから一人読みに繋げられるように、市立図書館などを有効活用して興味を持ってそうな本を提供できるように努めます。また、親子で一緒に本を読む時間を作ります。	【実績】 学校に所蔵していない本については、市立図書館の所蔵を確認して借りるように案内する。 保育では、図書館の本に興味を持つ。・しらかば号の保育園配置。 【成果】 学校では、市立図書館の利用につながった。 保育では、図書館には色々な本があることを知り、子どもから図書館に行きたいというようになった。	B	継続して取り組む。 家庭では読み聞かせや好きな絵本がいつでもある環境になるように、市立図書館などを有効活用して興味を持ってそうな本を提供できるように努めます。また、親子で一緒に本を読む時間を作ります。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				<p>③保護者がテレビを消して、読書ができる静かな環境を提供します。また、率先して本を読む姿を見せて家庭で読書ができる雰囲気づくりに努めます。</p>	<p>【実績】 学校では、図書館だよりで家庭での読書を促し、土日や長期休暇前には通常より多い冊数の貸し出しをした。 保育では、現代の活字離れについての啓発を行う。 ・成長期におけるTV・メディア等の害についての保護者向け講演会（ネットリテラシー）を開催する。</p> <p>【成果】 学校では、休暇前の貸し出し数が増加した。 保育では、保護者に成長期の影響について理解していただいた。</p>	B	<p>継続して取り組む。</p>	係

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 保育園における取り組み	言葉による伝え合いなどの力を養うことを目的に、絵本や物語などに親しめるよう読書環境の整備を行います。	絵本や紙芝居の配本における選書、読み聞かせなどのスキルの向上が課題です	①現状で取り組んでいる、定期的な配本を継続実施します。	<b>【実績】</b> ・年2～3回定期配本され、園内で活用したり、保護者へ貸し出しをする。 ・園内の絵本コーナーは園児が選書しやすいように並べ方を工夫、椅子などを置きその場で楽しめる環境にする。 <b>【成果】</b> ・定期配本では、豊富な種類の絵本や紙芝居が配本され、保育士の読み聞かせスキルの向上に繋がった。家庭への貸し出しは、家庭での絵本管理が難しく、落書き・破れが重なったことから、園内で活用するに変更した。 ・園内絵本コーナーでは、園児が絵本を開き楽しむ姿が見られた。	B	図書館からの定期的な配本から、園が必要なときに借りに行くことに変える。選書の際、相談・アドバイスをもらうなど図書館との繋がりを大切にする。	保育係
				②保育士の選書等に係る支援（研修・相談など）を継続実施します。	<b>【実績】</b> ・かたりの会の開催。 ・図書館の年長児向けおはなし会の開催 <b>【成果】</b> ・毎日の保育の実践に活かされている。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(3) 学校図書館における取り組み ア 館内レイアウトの工夫	書架、机、椅子、カウンター等の設備・備品を効果的に配置することにより、利用しやすく、親しみが感じられる図書館にします。	書架の高さの不具合、収納スペース不足等、改善には多くの経費が必要となるため、現在あるものを活用したり、修理・転用したりすることが求められています	①本棚脇に椅子が点在するように設置したり、帯出カード置き場を壁際に設置したりするなど、ソーシャルディスタンスの確保とともに、落ち着いて読書に浸れる環境を目指します。	【実績】 本棚脇に椅子を配置するほか、椅子同士の間隔を広くとりゆったりとしたレイアウトをこころがけた。 【成果】 「落ち着いた図書館」として、読書や学習が行える環境を作ることができた。児童生徒からも落ち着くといった声があった。	B	継続して取り組む。	学校教育係
				②新刊コーナー、特設コーナー等、配架を工夫するとともに、本の入れ替えを定期的に行うなど、常に新鮮さが感じられる空間を目指します。	【実績】 コーナー(季節・おすすめ等)の設置に加え、POP等でさらに目に留まりやすくしている。新刊本に新刊の目印としてシールを貼り、通常の棚とは別に配架している。 【成果】 児童生徒が興味をもちやすくなり、コミュニケーションの1つになりやすい。特に低学年には本を選びやすくなっている。	B	継続して取り組む。	
				③季節の飾りつけ等を工夫して掲示し、くつろげる空間づくりを目指します。	【実績】 季節に合った飾りを作るなかで、図書館の雰囲気合った派手になりすぎないような装飾を作成している。 【成果】 落ち着いた空間がつくられている。関連本も掲示しやすくなっている。	B	継続して取り組む。 学校司書の勤務時間の削減により、委員会活動の中で取り組む学校がある。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	3) 学校図書館における取り組み イ 展示や案内表示の工夫	読書への幅広い興味関心を持てるようにするとともに、図書館が利用しやすいような、わかりやすく魅力的な展示や案内表示を工夫します。	学校司書が工夫しながら展示や掲示をしています。工夫したことについて、児童・生徒から高評価を得られることが多いのですが、準備の負担も多いため、限られた中でより効果を上げることが求められます。	①読書や本への興味関心が高められるよう、わくわくするようなpopやキャッチコピーを工夫し、校内の各所に掲示します。	【実績】 学校司書の作成だけでなく、委員会の企画や学級学年等でそれぞれ作成し、昇降口等への掲示を行った。 【成果】 図書館のアピールになる他、児童同士の読書意欲の向上に繋がった。来館者数や貸出数も増加している。	C	継続して取り組む。 児童同士の読書意欲にもつながっているため継続して行う。	学校教育係
				②新刊や話題の本、絵本等の魅力を効果的に伝えるため、壁面や書架側面等を利用したディスプレイ等、表紙が見えやすく手に取りやすいような配置を工夫します。	【実績】 図書館内の壁面等を使った案内のほか、本の帯に紹介POPを作成したり、表紙が見えるようにディスプレイを整えたりした。 【成果】 立ち止まって見る児童生徒が多い。掲示を見た児童生徒から「〇〇はどこですか？」と聞かれることがあり、貸出に繋がりがやすい。	B	継続して取り組む。	
				③読みたい本が探しやすいように、分類の仕方やラベルのしくみについて、担任や国語科の教員と連携しながら指導するとともに、図書館内地図やわかりやすい案内を表示します。	【実績】 オリエンテーションや図書館の授業をとおして分類について説明している。また、必要に応じて掲示を見ながらわかりやすく説明している。 【成果】 書架の案内表示を見ながらも、児童生徒自身で本を探しに行くことができている。	B	継続して取り組む。	
				④季節にあった本、各学年の学習内容にあった本、話題の本等の紹介や実物を図書館外へも掲示したり、配置したりします。	【実績】 図書館前の廊下に掲示や配置をしている。 【成果】 図書館に入りやすくなり、図書館外で見た本の貸出に繋がった。	B	継続して取り組む。 図書館外に掲示する場合は紛失等が発生する可能性があるため、取扱いには十分に気を付ける。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	3) 学校図書館における取り組み ウ 市立図書館や他校図書館との協力	市立図書館と連携することで、学校では揃えられない本や調べ学習用の図書等、幅広いジャンルの図書にふれることができるようになります。また、交通弱者である児童・生徒が市立図書館の本を借りやすくするよう配慮をします。	市立図書館と学校図書館との情報交換を密にし、現在の連携をより良いものにしていくことが求められています。また、学校図書館相互の情報交換のあり方や図書の相互利用等についても探っていく必要があります。	①市立図書館の児童書を学級文庫用図書として利用し、定期的に入れ替えを行います。	【実績】※5校未実施 低学年を中心に実施。  【成果】 自校にない本を、市立図書館に行かなくても学級内で閲覧できている。	B	継続して取り組む。 自校の蔵書のみで完結している学校がある。学校の規模に応じて進めていく必要がある。	学校教育
				②調べ学習や一斉読書用等の児童・生徒・教職員等の市立図書館からの貸出について、学校司書が窓口となり、より簡便な手続きで行えるよう工夫します。	【実績】 担任等の要望に応じて、市立図書館と連絡を取って対応している。  【成果】 授業で必要な本をスムーズに閲覧が可能になっている。	B	継続して取り組む。 実際に貸出になるまでに時間を要するため、必要な時に手元にあるよう、前もって担任等への依頼をする必要がある。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】 【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	3) 学校図書館における取り組み エ 蔵書の充実	読みたい本が必ず見つかる図書館、清潔感があり手に取ってみたいくなるような本がある図書館、十分な蔵書数がある図書館を目指します。	予算が限られているため、図書を十分購入できない実状があります。特に、学校規模が小さい図書館は、最低限の図書しか購入できない状況です。また、標準蔵書数の基準は満たしていますが、破損本の廃棄を進めること、本の種類やジャンルの過不足の解消等、蔵書の質の向上・充実が求められています。	①同じテーマやジャンルの本について、入門書からより専門的な内容の本まで幅広く導入します。	【実績】 各テーマ毎に各学年に応じた内容の本を心がけて選書している。 【成果】 対象年齢にあった本のため、手に取りやすく、内容が理解しやすいと思われる。	C	継続して取り組む。 それぞれの学年に応じた選書を進めていく。	学校教育係
				②破損本については丁寧な修理を心がけますが、痛みがひどい場合には廃棄を進め、新しい本との入れ替えをします。	【実績】 修理を行い、引き続き貸出可能なように対応している。修復不可能な本については廃棄を行った。 【成果】 修理し、再度貸出できる状態にしている。	B	継続して取り組む。 特に人気のある本は買替えをするようにしているが、予算の範囲内での柔軟な取り組みが必要である。	
	3) 学校図書館における取り組み オ 学習センター・情報センターとしての機能充実	「知りたい時は図書館へ」の声に応えられるよう、学習資料としての図書、調べ学習用の図書等の充実を図るとともに、電子データ等の活用もできる機能を備えていくことを目指します。	資料が十分調っていないこともあり、調べ学習のための利用がまだ十分ではありません。	①司書教諭との連携を深め、利用指導の仕方を研究していきます。	【実績】 司書教諭や担任等の連絡をこまめにとった。実際にワークシートを作成して調べ学習を行った。 【成果】 調べ方を学習することで、各単元の学習が調べやすくなった。	C	継続して取り組む。 やり方等については要検討?	学校教育係
				②学習センター・情報センターとしての機能を活かせるようにするため、授業に役立つ資料を備えて学習支援ができるよう、司書教諭や学校司書が中心となって取り組みを推進します。	【実績】 調べ学習に応じられるように蔵書を充実させるほか、市立図書館に依頼して幅広い資料を提供できるようにした。 【成果】 複数の資料があることで、児童生徒本人が情報を整理する学習ができています。	C	継続して取り組む。 授業に活用できるように担任には早期に申し出るように依頼し、スムーズに行えるようにする。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				③情報センターとしての機能を充実していくため、必要な図書や設備・備品の設置を計画的に進めていきます。	【実績】調べ学習のための図鑑や新聞、さらにはタブレットに関係するもの等、さまざまな媒体を扱えるようにした。 【成果】さまざまな媒体に触れられる機会になっている。	C	継続して取り組む。情報センターとして他にどのような取り組みができるのか、どのように充実させられるか検討していく。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	4) 市立図書館における取り組み ア 蔵書の計画的充実	日本図書館協会の作成した「公共図書館の任務と目標」より算出した市立図書館の蔵書冊数目標は18万冊とされています。令和8年度には一般用と児童用等併せて全体で18万冊所蔵できるように、除籍と受入を行いながら計画的に蔵書の充実を図ります。	予算の範囲内での収集となり、購入が限られる場合があります。	①ネットワーク構成図書館が購入したものを取り寄せ、検討するなど、良書の選定に心がけます。	【実績】 書籍の取り寄せ検討は随時実施した。 【成果】 当館の司書とは別の視点での選書は良書選定の参考となった。	B	ネットワーク構成図書館が購入した本の取り寄せ検討し、良書の選定をする。その結果、購入した冊数と購入を見送った冊数を集計すること。	図書館係
				②選書内容の確認を行い、バランスの良い蔵書構成を心がけます。	【実績】 発注の際、司書の選書に偏りがなければ随時確認するとともに、除籍を毎年行い、蔵書構成のバランスに配慮した。 【成果】 蔵書構成 R 3年度 166,013冊（一般書 99,775冊 60.1%、児童書・絵本・紙芝居 66,238冊 39.9%） R 4年度 168,848冊（一般書 101,403冊 60.1%、児童書・絵本・紙芝居 67,445冊 39.9%）※一般書は、郷土資料、行政資料、参考資料、雑誌、その他資料を含む。	B	継続。当館の蔵書基準は平成28年4月1日に施行。蔵書基準取り扱い要領は平成29年3月3日に定められた。現在の社会情勢とも照らし合わせて見直しを検討する。	
				③より良い蔵書構成を目指し寄贈を積極的に受け入れます。	【実績】 本の寄贈を市報に掲載するとともに、市立図書館HPでも呼び掛けた。寄贈条件は2011年以降に出版されたもの、傷みが少ないものなど、本による寄付プロジェクト「チャリボン」での買取可能な条件により記載した。 【成果】 寄贈本の受け入れ結果（全て） R 3年度 554冊 321,317円 R 4年度 554冊 446,588円	B	継続。寄贈図書受け入れの基準を定めること。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	4) 市立図書館における取り組み イ 読書手帳の整備	市民の読書活動の振興を図るため、読書手帳に読んだ本の内容や感想などを記載して心に残った感動を振り返ることを助けます。また、たくさん本に親しんだ成果として図書館からささやかなプレゼントを受けることで達成感を得られ、より読書に積極的に取り組む意欲を持ってもらうことを目的とします。	大人の方へのプレゼントは、期間限定品として湯ノ丸の天然水500ml入りペットボトルとしていましたが、終了後は別のプレゼント品を考慮することができず、増冊券と表彰状のみの運用になっています。	①読書手帳の認知度を上げるため、PR強化を図ります。	<b>【実績】</b> 配布実績 R3年度 未集計 R4年度 491冊 100冊達成者 R3年 未集計 R4年度 68人 100冊達成者には3つの特典から一つを贈呈した。 <b>【成果】</b> 貸出冊数の蓄積へのモチベーションを保ち、来館へとつなげた。	D	100冊達成の特典は、 (1)貸出冊数10冊増加券 (2)表彰状の授与 (3)雑誌付録等の限定品 来館への意欲がさらに沸くような特典を検討する。	図書館係
				②大人用の期間限定品のプレゼントを考えます。	<b>【実績】</b> 期間限定品実績なし。大人用も子どもと同じ3つの特典から一つを贈呈した。 <b>【成果】</b> 貸出冊数の蓄積へのモチベーションを保ち、来館へとつなげた。	D	大人企画につき次期は取り組みに入れない。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	4) 市立図書館における取り組み ウ 寄贈本の積極的受入	市民からの寄贈を積極的に受け入れることにより、資料の収集・保存の強化と読み終えた本の有効活用を目指します。	古い全集、百科事典などの引き取りの相談が多く、多くの市民の利用が見込まれる本が寄贈されにくいことが課題です。	①寄贈頂きたい本を具体的に示し、誤解を招く表現を避けることにより、図書館が本当に必要とする蔵書の充実を図ります。	【実績】 寄贈条件は2011年以降に出版されたもの、傷みが少ないものなど、本による寄付プロジェクト「チャリボン」での買取可能な条件により記載した。 【成果】 寄贈本の受け入れ結果（全て） R 3年度 554冊 321,317円 R 4年度 554冊 446,588円	C	寄贈図書受け入れの基準を定め、誤解を招く表現を避けることにより、図書館が本当に必要とする蔵書の充実を図ります。	図書館係
				②郷土資料・行政資料だけでなく、新たに絵本・紙芝居・児童書の寄贈依頼を行います。	【実績】 寄贈条件は2011年以降に出版されたもの、傷みが少ないものなど、本による寄付プロジェクト「チャリボン」での買取可能な条件により記載した。 【成果】 寄贈本の受け入れ結果（児童書、紙芝居） R 3年度 児童書48冊33,154円、紙芝居1冊定価不明 R 4年度 50冊26,043円、紙芝居0冊	C	継続	
				③図書館ホームページや広報等を活用して寄贈依頼のPR強化を図ります。	【実績】 市報に掲載するとともに、市立図書館HPでも呼び掛けた。 【成果】 寄贈本の受け入れ結果（全て） R 3年度 554冊 321,317円 R 4年度 554冊 446,588円	C	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				<p>④図書館で必要としない本は被災地支援の活動を行っている古本業者を紹介し、陸前高田市の図書館再建支援の取り組みに協力します。</p>	<p>【実績】 寄贈条件は2011年以降に出版されたもの、傷みが少ないものなど、本による寄付プロジェクト「チャリボン」での買取可能な条件により記載した。</p> <p>【成果】 陸前高田市の図書館再建支援は2017年7月に建物が再建されたことから、寄付先を長野県みらい基金に変更した。 R 3年度 125点 3,458円 R 4年度 80点 5,879円</p>	C	<p>図書館で必要としない本は業者を紹介し、本による寄付プロジェクト「チャリボン」に協力します。</p>	
				<p>⑤寄贈者より承諾が得られた場合には、寄贈受け入れしない本を図書館まつりのリユース市に出品します。</p>	<p>【実績】 図書館まつりのリユース市に出品した。</p> <p>【成果】 リユース市へ出品し、頒布した冊数・延べ人数（除籍本を含む） R 3年度 1,459冊/282人 R 4年度 1,663冊/348人</p>		B	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	4) 市立図書館における取り組み エ 図書館入口へのアプローチ対策	初めて図書館を訪れた方でも迷うことなく目的のフロアまで到着できることを目指します。	入口が、本庁舎側からの南側と、子育て支援センター側からの東側と、県東深井線からの北側の三か所あり、車を停めた駐車場からどのようにすれば図書館に到着できるか分からず、迷われる方がいます。また、図書館に到着しても、1階部分のみ閲覧して、メインの3階に到達できずに帰りかける方も多く見受けられます。	① 図書館キャラクター「クロちゃん」を使って、駐車場から図書館入口へいざなう表示を設置、強化します。	【実績】 「クロちゃん」の図書館入口へいざなう表示の設置の他、新たに「図書館北口」の看板を設置。 【成果】 看板設置後は、訪れた方が迷うことなく図書館へ到着できた。	B	「クロちゃん」を使って、駐車場から図書館入口へいざなう表示を設置します。	図書館
				② 図書館内各フロアの表示を設置、強化します。	【実績】 図書館内各フロアの表示を設置。 【成果】 目的のフロアまで誘導できた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	4) 市立図書館における取り組み オ 上田地域図書館情報ネットワークの活用	ネットワークを活用して図書館の利便性の向上を図り、多くの子どもたちに利用してもらうことを目指します。	インターネットでの図書検索の利用促進が課題です。エコー管内であれば居住地の図書館以外でも本の利用ができることを知ってもらうため、ネットワークのサービス内容の広報周知が課題です。	①上田地域図書館情報ネットワーク連絡会議を活用して、効率的なシステム提供と適切な運営を行います。	<p>【実績】 図書館システムの維持管理とＩＣタグ関連機器保守管理業務を、（一財）上田市地域振興事業団に委託した。 業務委託料 R 3年度 1,736,196円 R 4年度 1,736,196円</p> <p>また、毎月の実務担当者会議においてシステムの改善をシステム提供者に依頼した。</p> <p>【成果】 不具合が生じた際は迅速な対応がされるとともに、改善も随時行われ、効率的なシステムが提供され、適切に運用された。</p>	B	・システム更新は令和6年度に実施される予定。より効率的に運用できるシステムが提供されるよう、改善点を実務担当者会議を通して依頼する。	図書館係
				②図書館ホームページや市報でネットワークサービス内容の広報周知を図ります。	<p>【実績】 図書のインターネット予約登録が利用者が直接行えるようになるなど、利用者の利益に直接つながるシステム改善は、図書館ホームページや館内掲出により周知した。</p> <p>【成果】 利用者への周知が図られた。</p>	C	周知がシステム改善の後追いになることもあったので、迅速な周知方法を検討する。  市報、東御市公式SNSを活用しての広報周知を検討する。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
3 連携・協力	(1) 家庭・地域と市立図書館の連携 ア 福祉施設・特定非営利活動法人・その他団体や児童館・児童クラブとの連携	地域の子どもたちを見守り・支えている福祉施設や特定非営利活動法人、その他の読書団体や、児童館・児童クラブにおいて、子どもたちが本に親しみ読書の幅を広げることができるよう読書活動を支える地域の図書館を目指します。	地域で活動している団体等に、十分な周知をしていく必要性があります。長期にわたり継続利用してもらうための、資料の充実が必要です。	①団体の読書活動を支援するために団体への図書館サービスの周知を年1回行います。	【実績】 1団体の新規申し込みがあった。 【成果】 図書館利用者の口コミ等で図書館サービスを知ってもらうことにより、申し込みにつながった。	B	図書館サービスを知ってもらったための広報活動（市報やSNS等）の継続が必要。	図書館
				②大型絵本や大型紙芝居・パネルシアター等、団体への貸出に必要な資料の充実に努めます。	【実績】 計4冊（38500円分）大型絵本を購入。 【成果】 子どもたちに親しみのある絵本が大型化した際は積極的に受け入れ、大型絵本だけでも計147冊となり、資料の充実をはかれた。	B	継続	
	(1) 家庭・地域と市立図書館の連携イ 保健係との連携	乳幼年期における親子での本とのふれあいの大切さを保護者と子どもたちに知ってもらい、本への興味・関心を持ってもらうことを目指します。	2歳6か月児検診が、保健係の事業の効率化に伴い2か月に1回となって、1回当たりの指導人数が増加していることが課題です。	参加人数が多い状況の中で、読み聞かせなど集中して聞いてもらえるよう導入の工夫をします。	【実績】 検診の待ち時間の中で読み聞かせ等を行った。その際、開始時の声掛けや状況に応じて複数の絵本を読んだり、見やすい位置で行うなどの工夫を行った。 【成果】 読み聞かせに入るタイミングを保健係の担当者に指示してもらうことでスムーズに開始することができた。また、保護者への説明の前後に絵本を読み、最後まで聞いてもらっている様子も感じられた。	B	継続	図書館係

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(1) 家庭・地域と市立図書館の連携ウ出張出前講座	市民の求めに応じて、出前講座を行うことにより地域の文化活動を支援し、子どもたちに本への興味、関心を持ち、本に親しんでもらうことを目指します。	地域の公民館や子どもの育成に関わる会などでは、子どもが本に興味を持ち、読書の習慣が身につく活動を地域ぐるみで取り組んでいくことが必要です。また、子どもを取り巻く大人への支援を地域で行う必要があります。	①地域に伝わる身近な昔話などを紹介し、親子で読書に親しむ機会をつくれます。	【実績】 コロナの影響で依頼なし 【成果】 なし	E	継続	図書館係
				②参加している保護者などに対し、子どもの読書活動に関する情報を提供し地域の大人と共に子どもの読書活動推進を目指します。	【実績】 コロナの影響で依頼なし 【成果】 なし	E	継続	
	(1) 家庭・地域と市立図書館の連携エおはなしボランティア団体との連携（ボランティア団体代表者会議）	未就学児とその保護者が地域の方のおはなし会を聞くことで、地元との繋がりを感じて、より楽しく読書に興味を持ってもらうことを目指します。	おはなしボランティア団体と図書館職員の意味疎通が図れず、必要物品等が整わない場合があります。おはなしボランティア団体のメンバーの新規会員の獲得が課題です。	①一年に1回代表者会議を行い、意思疎通と情報共有を図ります。	【実績】 毎年12月に開催した。 【成果】 開催時期を早めたことで次年度への準備がスムーズになった。	B	継続	図書館係
				②会員募集を希望する団体には募集のポスターを図書館内に掲示して団体に協力します。	【実績】 ポスターを掲示した。 【成果】 新規会員の獲得は叶わなかったが、会員間で相談・連携し、学びを深める機会となった。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(2) 保育園と市立図書館の連携 ア 保育園年長児への読書ガイド	保育園年長児に対して発達段階に応じた絵本の読み聞かせ等や、本の扱い方を伝えることで、想像力や集中力を養いながら本への興味を持ち、本を大切にすることを育むことを目指します。	本に親しむきっかけとして、絵本や物語の楽しさと出会う機会を提供する必要があります。本を大切に扱うことを理解してもらう必要があります。	①誰もが気持ちよく本を楽しめるよう園児に本の扱い方のおはなしをします。	【実績】 公立保育園5園に対し、R4・R5年（R3年はコロナの影響により中止）ガイダンスを行うことができた。 【成果】 読み聞かせとセットで本の扱い方を伝えることで、本に親しみながら学んでもらうことができた。	B	継続	図書館係
				②保護者向けに、図書館案内や本の取り扱い方が書かれたプリントを配布し、本を大切にすること、親子でふれあいながら本を楽しむことの重要性を啓発します。	【実績】 未実施 【成果】 なし	E	保育園年長児への読書ガイドには保護者の参加はなく直接伝えることができないので次期取り組みに入れない。（イ-③で行っているため）	
	(2) 保育園と市立図書館の連携 イ 幼稚園・保育園への支援貸出	幼稚園・保育園との連携で、園児に適した本・紙芝居を貸出することで、より多くの本との出会いを提供し、本に親しむきっかけ作りを推進します。	子どもたちがより多くの絵本・紙芝居に触れる機会を増やせるよう、図書館から園へだけではなく、図書館から家庭への利用促進が課題です。	①幼稚園・保育園で必要とされる図書を整備し支援貸出の充実を図ります。	【実績】 複本を購入したり、長く親しまれている資料でも傷みが多い場合は買い替えを行うなどして、充実をはかった。 【成果】 新旧の資料をバランスよく提供することができた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				<p>②園の実情・ニーズを踏まえ、あわせて発達段階に応じた絵本・紙芝居の選書をし、貸出を行っています。</p>	<p>【実績】 公立・私立の7園にR3年～R5年、のべ3600冊程の絵本・紙芝居の貸出を行った。</p> <p>【成果】 園から資料貸出申込書に必要冊数、ジャンル・対象年児の内訳等を記入してもらうことでニーズをふまえた選書を行い、貸出を行うことができた。</p>	B	<p>私立園に関しては支援貸出が継続しているが、公立園に関してはR5年より、保育士が直接図書館へ来館し、選書する運びとなっている。園によって来館頻度のばらつきがないか注視する必要がある。場合によっては、図書館から再度、支援貸出の申し出をする。</p>	図書館
				<p>③各家庭に貸出をする園には、図書館案内や本の取り扱い方等が書かれた保護者向けのプリントを配布し、図書館周知を図っていきます。</p>	<p>【実績】 園から各家庭へ貸出を行っている1園に対し、保護者向けのプリントをR3・R4年に配布した。R5年より、汚損・破損への対策として、園から各家庭に貸出を行わないこととなった。</p> <p>【成果】 公共図書館のアピールと、絵本を通じた親子の触れ合いの大切さを伝えることができた。</p>	B	<p>入園児の保護者に対し、図書館案内や本の取り扱い方等が書かれた保護者向けのプリントを配布し、図書館周知を図っていきます。</p>	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	3) 学校図書館と市立図書館の連携 ア 移動図書館車の小学校への運行	移動図書館車の豊富な図書の中から、自分の読みたいものを自由に選べる楽しさを味わってもらうとともに、学校図書館と異なる雰囲気の中で体験をすることで、親と子が一緒になって読書への興味関心を持ってもらうことを目的とします。	運行できる日が限られ、運行の時間が短い中で、子どもたちの図書の選択に十分な時間が取れないことが課題です。	①子ども向け図書の利用が促進されるように本の配置等を工夫します。	【実績】 学校と日程を調整し、参観日に合わせたイベント運行を行った。児童書や絵本の配置を工夫した。 【成果】 多くの子どもが本をたくさん手に取ってくれ、興味を持ってもらえた。	B	継続	図書館係
				②保護者からの子どもの図書の選択や、子どもの読書についての相談業務を、市立図書館で行います。	【実績】 4小学校で運行し、保護者へ市立図書館への来館を促した。新規カード作成、貸出、返却を行った。 【成果】 多数の方に見ていただき、図書館のPRができた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】 【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	3) 学校図書館と市立図書館の連携 『とうみふるさとを学ぶブックガイド』改訂版の作成	子どもが郷土に関連する本により、生まれ育った地域を身近に感じ、適書に親しむことで、学び調べる楽しさを知り、意欲的に本の活用と読書活動に取り組めることを目指します。	郷土の歴史や文化の学習に活用してほしいが、郷土資料には児童向けが少ないため、全体的に一般書の割合が多く、児童には難しい内容となり、学習の際に大人の手助けが必要な本が多いのが難点です。	①「とうみふるさとを学ぶブックガイド」の内容を吟味し、よりよく再編集し小学校・中学校に配布します。	【実績】 令和5年6月に郷土資料を中心にブックガイドを再編集した。改訂版を各学校へ配布した。 【成果】 子ども達に郷土の魅力を伝えられた。	B	今回の改訂版制作に向けて、掲載できる資料の選定に努める。	図書館係
				②図書館ホームページ上に電子データとして掲載し、多くの子どもたちが参考にできるようにします。	【実績】 改訂版は初版を精査のうえ、追加資料もあわせて再構成し作成。掲載内容が増えた。結果データ量が増加となり、検討はしたがHPへの掲載は見送った。 【成果】 なし	E	HPへの掲載は行わない為、次期は取り組みに入れない。	
	3) 学校図書館と市立図書館の連携 調べ学習、学級文庫、エコー個人予約貸出、学校図書館への支援貸出	子どもが自由に読書を楽しむ、読書の幅を広げられるようになり、資料の中から知りたい情報を見つけ出すことができるように、学校と連携し、適切に支援します。	学校、市立図書館では、様々な読書推進活動が行われていますが、効果的に実施していくためには連携や協力が不可欠で、さらに推進していく必要があります。	①学校における読書活動や調べ学習を支援するため、学校等で必要とされる図書を整備し、貸出図書の充実を図ります。	【実績】 前年度の調べ学習依頼等を参考に新刊購入の際は検討・購入に努めた。貸出資料も内容の精査に努めた。 【成果】 学習利用された学級から、別の依頼をされることもあり、学習支援に繋がってきた。	B	継続	図書館係
				②各貸出により学校図書館の利用アップを図ることと、利用後にエコー連携を使用している市立図書館への個人予約貸出の利用促進を図り、親子での市立図書館への来館促進にも繋がります。	【実績】 団体と個人貸出があるが、個人貸出は利用対象が児童・生徒が主である。利用していない学校もあり（学校の意向により）、家庭での本の利用状況も測れない状況である。学校連携からの親子来館促進については検討が必要。 【成果】 学校連携からの個人貸出の成果は計れないためなし。	D	各貸出の特色を生かし小学校図書館の利用アップを図る。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
				③学校図書館と市立図書館が相互に情報提供し、連携・協力ができる体制づくりに努めます。	<p>【実績】 学校司書の勤務時間削減により、会議の開催が難しくなったが、学校司書の要望でR4年度からWEB会議で実施した。</p> <p>【成果】 WEB会議は、コロナ対策、移動時間の短縮ができ、効率的に会議を行うことができた。</p>	C	短時間ではあるが、会議の際、相互理解に努める。司書部会長を通じて、連携・協力を図る。	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
	(4) 高等学校と市立図書館の連携 ア 職場体験学習の実施	職場体験学習を通じて図書館への理解を深め高校生にも親しめる地域の図書館を目指します。	指導の成果や図書館への親しみの程度など、職場体験学習を体験した生徒への成果が見えにくいこと、また、依頼元の高校の指導の意図・目的が掴みにくいことが課題です。	①指導カリキュラムの内部点検を行い、より効果のあるプログラム内容になるように改善します。	【実績】 R3 コロナの影響でなし R4 11/24～11/25丸子修学館高校1年生1人。 内容：カウンター接客、配架、レファレンス体験、書誌登録体験等 【成果】 高校から「生徒の進路設計における貴重な体験から、働くことについて真剣に考えることができた」と評価された。	C	コロナ禍の影響で、実習受け入れの依頼が1校のみだった。実習受け入れを行っていることを周知する必要がある。	図書館係
				②依頼元の高校からあらかじめ、学習目的、指導の狙い等を取得して、体験学習終了後、依頼元からの職場体験結果のレポート提出・アンケート提出を求め、指導カリキュラムの効果の検証を行い、問題点があった場合は改善し、相互でより良い指導ができるよう連携を深めます。	【実績】 依頼元の学習目的に基づき、カウンターでの接客、配架、レファレンス体験、書誌登録体験など当館の業務を一通り体験できるよう構成した。 【成果】 依頼元が作成した評価項目により、実習生の評価を行ったが実習内容の評価を高校側に依頼できなかった。	D	実習内容に対する評価内容を作成し、高校側に評価を依頼する。	
	(4) 高等学校と市立図書館の連携 イ 東御清翔高校との連携	地域の高校と市立図書館が連携することで、子どもたちへの読書啓発をより効果的に進めることを目指します。	市立図書館と高等学校の事業協力を推進していく必要があります。高校生に読書の楽しさを伝える、図書館運営が求められます。	①高等学校の司書教諭や学校との連携を図り、学校側が求めているサービスを調査します。	【実績】 「えほんのくに」で図書館と高等学校の事業協力を推進した。学校側が求めているサービスを調査は未実施。 【成果】 子どもたちへの読書啓発をより効果的に進められた。	B	継続	図書館係
				②入館した高校生が図書を手に取りたくなるような図書の配架を工夫し、レファレンスサービスを充実します。	【実績】 高校生が図書を手に取りたくなるような図書の配架を工夫した。 【成果】 高校生に読書の楽しさを伝えられた。	B	継続	

施策	項目	目的・目標	現計画の課題	具体的な取り組み	計画期間内の取り組み 【実績】【成果】を別に記載のこと	評価	課題 ※次期計画に向けた取り組み方向	担当
4 市民の関心を高め、理解を深める取り組み	(1) 情報発信と啓発活動 「子ども読書の日」を使った啓発活動	「子ども読書の日」「こどもの読書週間」に子どもや大人に子どもの読書の大切さを知ってもらうこと、読書を大切にするための大人の役割を知ってもらうことを目指します。「東御市子ども読書活動推進計画」の存在も大きく周知し、市民の理解と関心の普及を図ります。	「子ども読書の日」を効果的に利用して、子どもの読書の大切さを周知することが課題です。	① 今月のお勧め本紹介コーナー「テーマブック」で、「子ども読書の日」「こどもの読書週間」を取り上げて、子どもが読書に親しみやすくなるようなお勧め本を特集します。	【実績】 子どもの読書週間のある5月のテーマブックで取り上げた。子どもに読んでもらいたい本を中心に選書を行い、読書活動を推進した。又、大人を対象に子どもの読書の大切さを伝える本の特集を行った。 【成果】 子どもの読書の大切さを周知し、読書活動の助けとなるおすすめ本を紹介できた。	B	継続	図書館係
				② 図書館ホームページ等で「子ども読書の日」「こどもの読書週間」をお知らせして、子どもの読書の大切さを広く知ってもらいます。	【実績】 図書館ホームページ等で「子ども読書の日」のPRを行った。 【成果】 子どもの読書の大切さを周知周知することができた。	B	継続	
	(1) 情報発信と啓発活動 「図書館まつり」を使った情報発信	図書館まつりの行事に楽しく参加しつつ、子どもや大人に子どもの読書の大切さを知ってもらうこと、読書を大切にするための大人の役割を知ってもらうことを目指します。	「図書館まつり」を効果的に利用して、多くの市民に、子どもの読書の大切さ、大人の役割を知ってもらうことが課題です。	① 図書館まつりで「東御市子ども読書活動推進計画」コーナーを設け、市や図書館の取り組みや、家庭での役割なども紹介し、子どもの読書の大切さを知ってもらいます。	【実績】 図書館まつりで「東御市子ども読書活動推進計画」コーナーを設けた。 【成果】 子どもの読書の大切さを知ってもらうことができた。	D	継続	図書館係
				② 図書館まつりでの子どもの読書活動推進への取り組みをホームページや市報で取り上げ、内容を周知します。	【実績】 R5図書館まつりで実施。 【成果】 内容の周知が期待できる。	E	継続	